



ワクチン接種に全力

皆様が広報そうさ 7月号をご覧になる頃には、私は、年中行事でありませぬ浅間様にお参りを済ませていると思います。

その昔、私が幼い頃、父に手を引かれながらお参りに行きました。当時、学問の神様である菅原道真公を祀る天神山への参道は、多くの参拝者が立てた幣束で白一面に彩られ、最終参拝の八重垣神社の参道には、大好きな大福の出店が並んでいた70年前を思い出すと、時代の流れを感じます。

7月1日の今日は、五輪聖火が野菜中学校から野菜ふれあい公園までリレーされる予定でありましたが、蓮沼海浜公園で

の点火セレモニーのみに変更となりました。大変残念ではありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためには、やむを得ない決断ではないかと考えております。東京オリンピック・パラリンピックの中止を求める声もありましたが、新型コロナウイルスのワクチン接種率の向上と、「まん延防止等重点措置」を適用し、沖縄を除き「緊急事態宣言」を解除。開催に向け舵を切った模様であり、予防対策や観客入場などの話題が日増しにクローズアップされておりますが、開催にあたっては、さらなる対応と努力が必要であります。

八日市場ドームでも、

コロナ禍を乗り越えようとの関係者のご尽力により、5月には千葉県高等学校バスケットボール大会、6月には千葉県高等学校剣道大会、今月は千葉県中学校剣道大会が予定されるなど、大きな大会が開催されることは実に喜ばしいことでもあります。

本市の夏の諸行事は、残念ながら昨年同様中止とのことでありますが、秋には例年に近い形で開催を期待するものであります。市民の皆様には、長期間の自粛要請で心苦しく思いますが、市では、新型コロナウイルス感染症の早期収束に向けワクチン接種に全力で取り組んでまいります。

八日市場ドームでも、
匝瑳市長 太田安規

荻野を歩く

成田山拝礼碑

匝瑳探訪

182

荻野(平和地区)は、念仏川を挟んで旭市に隣接しています。川の縁に「成田山拝礼」と深く刻まれた高さ120センチほどの石碑があります。

成田山新勝寺(成田市)の参拝記念に建てられたもので、新勝寺の講(信仰集団)を知りたいと思っていたところ、今春、新勝寺の五井野照秀さんから「成田講と寺社参詣」と題した冊子が送られてきました。

それによると、新勝寺の参詣者のうち、団体のものを「講(講社)」といい、成田講は、江戸時代

中期・元禄ごろから成田山不動明王を信仰する人々たちによって各地に数多く結成されたといえます。

荻野の成田山拝礼碑は、裏面の文字から明治28(1895)年7月に、平和村荻野(同村は明治22年に成立)の川口定右衛門が願主となり「永喜講社」が建てました。

成田講は、明治9(1876)年には2738講存在し、この頃には講を受け入れる宿が新勝寺門前周辺に十分そろっていたとされます。永喜講社の講員もそうした宿に泊まり、平和村と成田山を徒

歩で往復したのでしょう。この石碑は、道標も兼ねていて、仮名文字も使い浅く刻まれています。

正面に「此方おぎの(荻野)、ひら木(平木)、福岡町(八日市場町の旧町名)、東京」とあります。現在は、正面が北向きになっていますが、念仏川改修工事の際に方向を誤って設置されたのかもしれない。本来は荻野集落を向いていたのでしよう。右側面に「此方、い

づみ川(泉川・旭市)、旭町、鉾子町」、左側面に「此方、大つか原(大塚原・旭市)、しいな内(椎名内・旭市)」とあります。

永喜講社がその後いつまで存在したかは不明ですが、この碑は市内でただ1基の成田山参拝記念碑で貴重といえます。

荻野の成田山拝礼碑



問秘書課広報広聴班 ☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一 推薦

ワクチンの不安はあれど孫や子に
逢える喜び列に並びぬ

木下 昌子

初夏の朝梅の枝葉のこもれびが

カーテン越しに影絵のごとし

大木 洋一

書き遣す吾子のノートに眼をやれば

未来ばかりが輝けるなり

内藤喜代美

はるばるとそら豆の匂い届いたか

祖母のつくりし古里の味

土屋 繁子

雨あがり狭庭の楨はさ緑に

着替えるがに葉を繁らせて

伊藤 英子

病癒え一年経ちてたのしみの

梅干し作りにじっくり取り組む

鈴木 知子

田の畔にみどりの風の吹き渡る

青鷺親子が餌をついばむ

桑原 宏子

川口城司 推薦

桜満開のカレンダー表紙切り取りて

殺風景なる部屋の壁に貼る

石田 秀子

介護認定調査の問ひにこまごまと

夫を語れば愚痴めきをりぬ

稲葉 雪子

卵の花の多くは知りて流れ行く

中水草に留まるがあり

石田 治

俳句

高安せい子 推薦

八十路坂すべりゆくごと梅雨晴間

岩井 やす

夏来る眉藪たける師にまみえ

椿 和枝

ほととぎす真昼の空をほしいまま

椎名 晴江

梅雨の空気分転換爪を塗る

佐々木ゆき子

太陽光下に黄金や麦の秋

安藤 建子

川口城司 推薦

早蕨がワタ毛をつかみ離さず

石田 健

梅雨空や立て看板に青蛙

須貝 玉枝

川柳

勝又康之 推薦

コロナ禍で世界が揺らぐオリンピック

佐久間美智子

東京へ聖火をつなぐトーチキス

江波戸京子

五輪パラ中止をの声過半数

椿 謹二

オリンピック長女出産忘れない

岡田けい子

近づけば心が弾むオリンピック

常世田やす子

コロナ禍はオリンピックと同居無理

宮崎 賢一

ワクチンの力に期待五輪咲け

安藤 幸恵

川口城司 推薦

在宅は円満壊す勤務かな

熱田真こと

俺にゃないタダほど怖い接待費

石橋 春歩

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73-0080 FAX73-1114

図書館だより

問八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

- 休館日…1日(木)・毎週月曜日
- 祝日開館日…22日(木)・23日(金)

課題図書

第67回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書は、八日市場図書館・のさか図書館で、各1冊ずつ所蔵しています。

貸し出しは、子ども1人に付き1冊まで(子ども名義の図書館カードでのみ受け付け)、期間は1週間です。予約の受け付けは、窓口と電話にて、取り置きは2日間です。

まだ図書館カードをお持ちでないお子さんは、カードを作りませんか。その際、健康保険被保険者証など本人確認できるものが必要です。なお、9月以降は、一般に貸し出します。

大型絵本

図書館には一辺が50cmを超えるような大きい絵本があります。また、八日市場図書館ではエプロンシアターも所蔵しており、読み聞かせの会などで利用できます。

大型絵本・エプロンシアターの所蔵リストを用意しています。詳しくは図書館カウンターでお尋ねください。

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



おすすめの本

『サンドイッチクラブ』

長江優子/作 岩波書店

小学6年の夏休み、珠子は、無心に砂像を作るヒカルと出会います。家庭環境も性格も異なる二人の少女が、互いを受け入れ、真っすぐに世界に向き合っていく姿を描く、成長物語です。

『科学者になりたい君へ』

佐藤勝彦/著 河出書房新社

「どうすれば科学者になれるの?」「研究生活ってどんなもの?」宇宙物理学者である著者が、自身の科学者人生を紹介しつつ、実例を交えて案内します。科学を見る目がガラッと変わる一冊です。